



真空吸着ツールスタンド VSTS-WZ



佐々木工機株式会社

<http://www.sasaki-koki.co.jp/>

〒213-0006
川崎市高津区下野毛1-9-33
TEL : 044-844-0338
FAX : 044-822-0922
info@sasaki-koki.co.jp

真空吸着ツールスタンドVSTS-WZ



測定ツールを石の定盤でも簡単に固定、取り外し
ができる便利な「真空吸着式」ツールスタンド
(台座とエジェクターの2部品で構成)

真空吸着ツールスタンドとは？

石の定盤上でも測定ツールを簡単に固定、取り外しができる便利な「真空吸着式」ツールスタンド

特徴

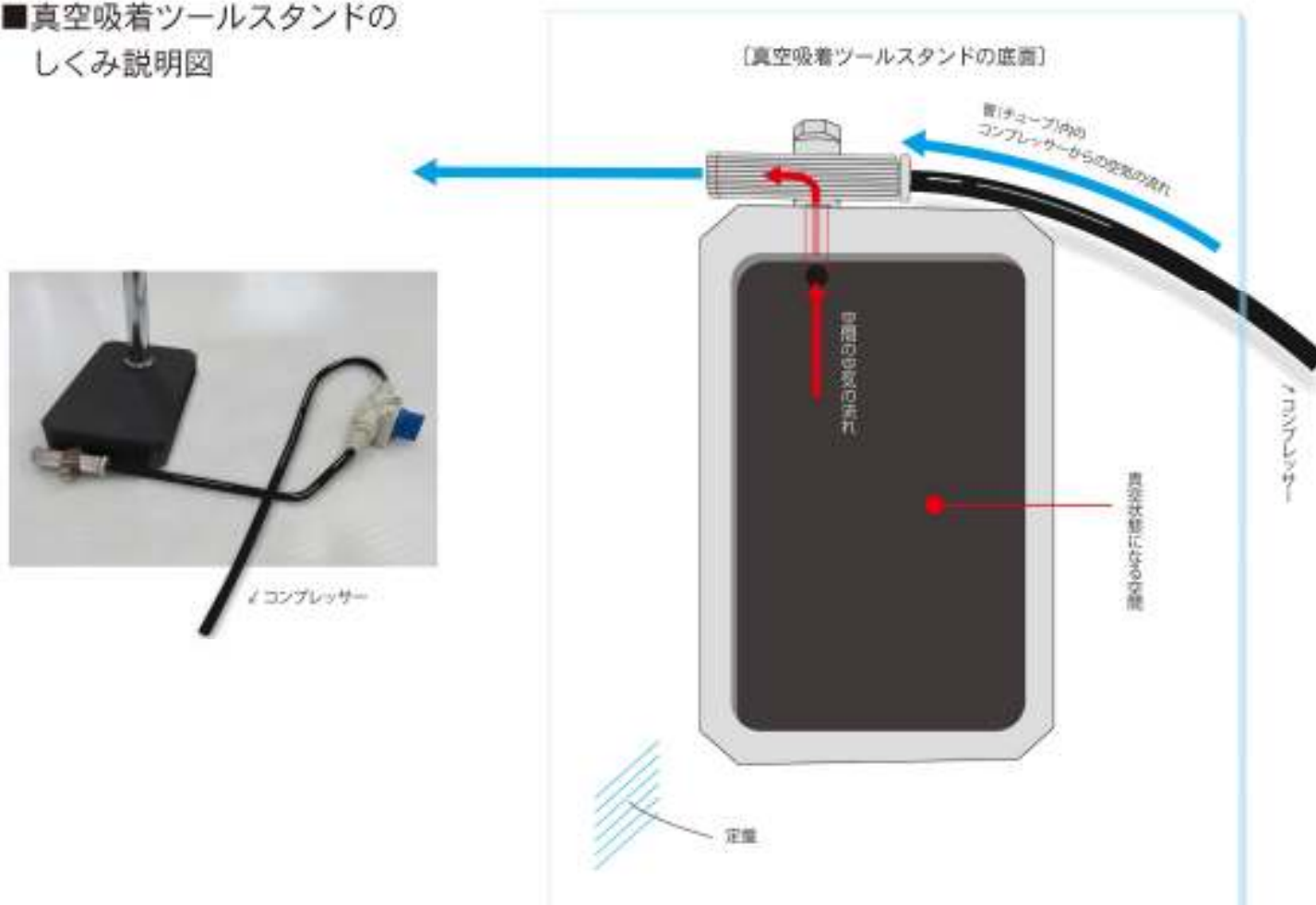
石の定盤にも適用が可能： 真空吸着式のため定盤の材質を選ばない

小型・軽量： 定盤側面への固定も可能

固定／開放が自在： エジェクターを押さえれば簡単に吸着／開放

真空ポンプ不要： 工場内のコンプレッサからのエアを使用

■真空吸着ツールスタンドのしくみ説明図



コンプレッサーからの空気をエジェクターに流し込むと真空吸着ツールスタンド底面空間の空気をその流れに巻き込み排出し真空状態をつくり定盤に吸着します。



◆ 価 格

参考価格：24,000円/台(税抜額)

- ・ご発注単位は、10個からとさせていただきます(送料当社負担)
- ・1個からのスポット発注にも対応致しますが、その場合は送料のご負担をお願いします

◆ 寸法／質量

- H18mm × W60mm × D92mm(エジェクター含め108mm)／約760g
- 支柱取付用ネジ穴サイズ M8 × P1.25

◆ 供給エアー

- 0.4MPa～0.6MPaの清浄エアー
- 配管径 Φ4mm(レギュレーターを使用すれば、Φ6mm以上から変換可)

(参考) 供給エアー圧により流量は変わります

0.4MPa・・・13.0L/min

0.5MPa・・・15.5L/min

0.6MPa・・・18.1L/min

◆ 保証体制

- ・保証期間は1年間

支柱セット(別売り)

ダイヤルゲージなどの計測器を直ぐ取付けて使えるためのセット

- ・金属製支柱
- ・クランプ

配管セット(別売り)

コンプレッサと直ぐ接続して使えるためのセット

- ・ウレタンチューブ(約3m)
- ・開閉弁
- ・接続バルブ、カップラ



大企業の特許で新製品

川崎市仲介「真空吸着スタンド」開発

（佐々木正三氏、従業員）が、工業部への測定機器を固定する「真空吸盤ツル」(仮称)を開発した。マグネットが使えるような石製の作業台に使用でき、小型で軽便な中間作業性の上にも期待できる。大企業の特許権を中小企業が利用できるように、中芥する川崎市の知的財産推進事業から誕生した新製品だ。

催している。これまでに、1000社超の中小企業が、日産自動車や日立製作所、富士通などとの間で21件のライセンス契約などを結び、製品開発は今年度13例目となる。

ミツシヨンの部品や建設機械の油圧部品などの製造を行



佐々木工機

ミットヨ開放特許活用
佐々木工機 精密測定用スタンド

板製造の佐々木工機
株式会社、佐々木政仁社
は大手精密測定機部
「ミットヨ」(同、中
社)の開放特許を
、精密測定用のスタ
ンドを開発した。5月に
川崎市が主催
する「夏物販賣ツ
ールスタンド」は精密測
定に使うラベが、表面に
凹凸がある材質でも使
に強固するのが特長で
材は鋳物に比べ、温度
伸縮などの変化が少
ないなど優れた
があるが、測定器を
に固定するのが難し
た。佐々木工機はミ

精密測定用スタンド

機械製造の佐々木工機（川崎市、佐々木鐵工社）は、大手精密測定機メーカー、ミツトヨ（同、中トヨ）から情報提供を受け、

「豊後豊前」があるが、副産物を完全
に固定するのが難しかった
た。佐々木工機はミット

ミットヨの特許活用
ツール スタンド 真空吸着式を開発

【補説】佐々木工機
川崎中港地区、佐々木
地区に計、044・844
4・03388 は、ミツ
バハ、同、中川機社、
以等に製造する。1711
12月に製造する。1711
は、川崎中港地区に計
した、製造の1ルを有
の製造も簡単に製造、取
自在に計製造する。

0.44・0.15・0.30
の開放特許を単に
「風力発電タービュ
リン」(消費税率3
%)の関税に引き上
げ、さらに2000
年10月1日以後に
製造されたものの
税率を大幅に引き
上げた。川崎重工
の「知的財産等」
の成果で、今回が

[illegible]

その付帯に満を入れてその部分

を高度にして、職
たが、高度職等は、無
程度の差をつけられ、
会諸国品は、た
の、外観などのラインア

相定では想定最で、勝算力も高い。また、ツブを喰うと予定

今公開されたツール
ンドは、エアコンプレッ
システム

簡単に固定できる「真空吸金属部品の精密測定の際、
「真空中」各種目ダイヤルゲージなどの測定ツ
具を使って測定面を真正に
に固定、取り外しが可能

[illegible]

大手企業の「ミット」(同ネットスタンドで固定して販売を開始する。1台2万5千円)の展開戦略を盗用した。たしかに、金属より劣化が千円、問い合わせは、佐

木社長は「石膏の定額が、少なくとも一度変化も少ない石膏の定額が普及、その際使われ」
 38。
 工場044（844）

「土を意識して開発した」としている。

「三回ほどにわたるシンガポールの出張は、きつかけに両社が昨年6月ライセンス契約などを結

製品化が進んだ。ミットは固定する対象物の材質に
よらず、工具を動かすとき

真空吸着ツールスタンドの
計技術を保持。佐々木工機

新製品を説明する佐々木社長（川崎市役所）

開放特許活用し新製品

大企業の開放特許を活用して新製品開発を促す知的財産交流事業で、川崎市内の中小企業が新たな工員を雇用化した。市と市産業振興財団がうる07年から進めている取り組みで、知的財産交流会やシンポジウムを通じてマッチングを支援。今回の新製品を含め21件のマッチングが成立、13件が製品化されており、今後も優れた新製品開発や市内産業の活性化、技術力アップの可能性はさらに広がるとした。

銷木 昌紹

市の知財交流事業
大企業と中小マッチング

に標準に固定できる「真空目
着ツールスタンド」。各種目
動化機械装置の開発などを平
掛ける「佐々木工機」（高津
区、佐々木政仁社長）が、市
内大手企業の「ミットヨ」（同
区）の開放特許を活用した。
佐々木社長は「石製の定盤が
主流になってきた中で、便利
なスタンドだ。現場での使い
勝手を意識して開発した」と
話している。

金属部品の精密測定の際、ダイヤルゲージなどの測定ツールを準らな定盤に固定する必要がある。これまでは金属の定盤が多く、ツールをマグネットスタンドで固定していた。しかし、金属より劣化が少なく温度変化も少ない石製の定盤が普及。その弊使われ

すると、石製定盤でも固定、取り外しが可能になる。従来のスタンドより型で転写であるため、作も向上するという。5月販売を開始する。1台1万5千円。問い合わせは、佐工業会044-(844)-338。



新製品を説明する佐々木社長（川崎市役所）

[illegible]

【補説】佐々木工業
川崎市高津区、佐々木
健三社長。044・84
4・0338)は、ミツト
ロ同、中川雄次社長。
044・813・820
の開設特許を基に
「真空陶器」シリーズ
として発売する。17日
には川崎市内で自開業
した。機頭ノールを右石
の変動も簡単に固定、取
り外しができるのが特
徴。参考価格は片方40
00円(消費税抜き)。

新製品は石製
の定規に磁気ス
タンドの支えな
き金属板を設置
その背面に溝を
入れてその部分
を真鍮にして場
合々着せらる組立
金具部品などの
相定では相違

用に応じて使用可能と
させているが、目盛等は
バブルによって実際の測
量・評価が可能になるため
自在に計算できる。

金具部品の製造現
場における精密測定に際
してダイアルゲージなど
の測定ノール系と異なり
ならぬ基本機能へ加えて
測定上に取り組みができ
る従来のマテネット式
ゲージスタンドは既製の
定規の使用に頼られてい
たが、真鍮製方式は、高
精度の精造時に用いたれ
ば、自製の定規が使用可
能で、持ち方も高い。ま
た、石の表面の磨削によ
って滑らかなスタンドは
通常型よりスタンドは
より重たいが、高精度測定
の作業性が良いが、真鍮
材質は小型・軽便で作
業性を大幅に向上した。

川崎市の「知的財産交
渉窓口」としての特許
審判員、ミットロの特別
採用による市内中小企業
への製品開発は初めて。

佐々木工業は今後、固
製品の市場投入に向け
の直販や工務所経由での
販売を検討、市販のため
の展示を見ながら素材や形
状、外觀などのラインア
ップを進めると予定。

今回、新たに製品化されたのは、金属部品の測定ツールを石製の測定基準面（定盤）



新製品を説明する佐々木社長（川崎市役所）